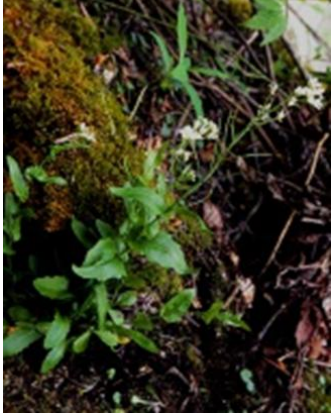



シコクハタザオ	<i>Arabis serrata</i> Franch. et Sav. var. <i>shikokiana</i> (Nakai) Ohwi	絶滅危惧 I 類
		アブラナ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	フジハタザオやイワハタザオに似るが、全体が大きく、根生葉の柄が長く、長角果は長さ7-9cmになる多年草。花期は7-8月。枝先に総状花序を出し、白色の十字状花をつける。花弁は長さ6-10mm。	
生態的特徴	山地に生える。	
分布状況	本州(千葉県、東海地方、近畿南部)、四国、九州に分布する。県内では県南の北西部の1地域に生育するのが確認された。	
減少要因	本種の分布域は県南の北西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責: 佐藤和良